

2024年8月25日

## 支援物資活用報告書

JICA 海外協力隊  
2022年度3次隊セネガル 小林桃子

私は現在、ティエス市視学官事務所というところで活動しています。日本でいうところの教育委員会のような場所です。ティエス市には約60校の小学校があり、私はその中からいくつかの学校を巡回し、先生らと一緒に算数と体育の指導向上に向けて活動しています。

そんな活動の中で、福井県のみなさんからのお力を借り、ティエスの小学校に支援物資を届ける活動を行いましたので報告します。

### 1. 任地の小学校の様子、支援物資を呼びかけようとした背景

任地の小学校を巡回していると、日本との違いに戸惑うこと、不便に感じるものがたくさんあります。その中で、教材不足を感じることもよくありました。これまで現地の先生たちと話し合いながら、段ボールやペットボトルのキャップなどから教材を作れないか考えたこともありましたが、一クラス約70人の子どもたちに対応する量の教材を作るには資材に費用がかかったり、もともと捨てられるような廃材から教材を作ろうとすると、劣化が激しくすぐに使えなくなったりといった問題がありました。そこで今回、福井県での支援物資の活動を知り、ぜひこの機会を活用したいと思い、要望を出させていただきました。

### 2. 呼びかけ期間

2023年9月～2023年11月

### 3. 呼びかけの方法

福井県のホームページ、福井市内の小中学校、大学、ラジオ等で協力の呼びかけ

### 4. 集まった物資の数

算数セット一式	19セット
数字ブロック	2
おはじき	2
色板	1
おけいこボード	1
計算カード	1
時計	4
つみき	1
おおなわ	14
なわとび	3



5. 配布方法、配布した小学校  
ティエス市内の小学校 15校

6. 活用状況

算数セットというと、日本では、低学年で使用するイメージがありますが、セネガルでは、学年を問わず活用できそうです。先生たちと算数セットの中身を見ていると、「このブロックは、3年生で使える!」「いや、6年生のこの授業でも使えそうだ!」と先生たちの意見が止まりません。私が知っているよりも多くのアイデアが出てきています。

縄跳びは、特に女子児童にとっても人気があります。もともと休み時間に校庭で遊ぶのは男子児童が中心でしたが、最近では、授業だけでなく休み時間も女子児童が校庭に出て活発に遊ぶ姿がみられるようになってきました。子どもだけでなく、先生たちもそんな子どもたちの様子を見て、自然と笑顔を向けていました。ある先生のクラスでは、フランス語の授業が早く終わったから、校庭に出て体育をすることに。体育の授業が後回しにされて、空いた時間も机に座っていることが多いセネガルはとても珍しく、先生たちの意識が変わってきているのかなと感じました。今年度は実現できませんでしたが、来年度はクラス対抗縄跳び大会なども行えたらなと思っています。



7. 最後に

今回いただいた物資を継続して使っていけるように、教材を使った授業を提案し、現地の先生の積極的なアイデアや工夫に耳を傾け、意見交換や実践を繰り返しながら活動していきたいと思います。改めてこの度はたくさんの支援本当にありがとうございました。

Merci beaucoup. Jërë jëfë(フランス語と現地語でありがとう)

